

## 経済倶楽部便り

◆東京◆ 4月は年度決算などの事業報告書作成に追われる日々です。そこで、過去1年間の講演録画のオンライン配信について、年間視聴者数ランキングを出してみました。ベストテン（敬称略）は以下の通りでした。1位興梠一郎、2位野口悠紀雄、3位柯隆、4位唐鎌大輔、5位小泉悠、ピーター・ロバーツ、7位飯尾潤、8位加藤出、9位廣瀬陽子、10位藤原帰一。いずれもテレビメディアなどに登場する頻度の高い有名講師に人気があることがわかります。しかし、地味だが必要なテーマについてはこれからも講演会を開催してゆく方針は変わりません。

6月の講師は東洋経済新報社報道部記者の横山隼也氏、笹川平和財団上席フェローの渡部恒雄氏、慶應義塾大学教授の小幡績氏、毎日新聞社論説委員の佐藤千矢子氏を予定しています。

◆中部◆ 4月の講師に第一生命経済研究所首席アナリストの熊野英生氏が来名。「これから日本で伸びる分野としてインバウンドに注目。2023年の訪日消費は5・3兆円。あと5年で10兆円になる」と。ただ、地域的な格差は鮮明で消費額ベスト5は1位京都2位沖縄3位大阪4位東京5位福岡。名古屋のある愛知県は19位と訪日外国人には素通りされているとのこと。

6月の講師は「インサイドライン」編集長の歳川隆雄氏、（二財）日本総合研究所会長の寺島実郎氏を予定しています（日暮良一）